



校長だより

～躍動～

第10号



〈学校教育目標〉 心豊かに 自立する

呉市立両城小学校
校長 安部ほずみ

令和8年7月17日(金)

いよいよ明日から夏休み！

本日(17日(金))、一学期終業式を行いました。

子供たちにとって、楽しみいっぱいの夏休みが始まります。終業式では、一学期を振り返り、代表児童が、できるようになったことや頑張ったことを全校児童の前で発表しました。一人一人が、元気で有意義な夏休みを過ごしてほしいと願います。夏休み期間中は、いつも以上に、子供たちが地域でお世話になると思います。これまで同様、温かい声かけや見守りをお願い致します。



【代表児童】

1年 北川 統慈 2年 吉田 悠真 3年 山下 賢一郎
4年 彦野 司 5年 岡本 秀一 6年 三浦 暖乃芭

“浮いて待て” 今年も、5、6年生が着衣泳の学習を行いました

7月8日(水)の2、3時間目に、水難学会の大宮様をはじめ、広島県地域活動協議会の皆様方に来ていただき、5年生、6年生児童が着衣泳の学習を実施しました。

もしも、服を着たまま川や海に落ちてしまったら、焦ってしまい何とかしようと、手足を動かしたり無理をしてでも泳ごうとしたりしてしまうかも知れません。こういう場合、とても大切なのが“浮いて”“待つ”ということだそうです。

とはいえ、頭では分かって、なかなか難しいことです。5・6年生児童も、初めは力を抜いて浮くことが、できなかったようですが、少しずつコツをつかむことができたようです。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



【5年生・6年生児童の感想より】

- 今日は、浮く練習を教えてくださいありがとうございます。浮く時には、頭を上げて手を水中から出すと、おぼれるということが分かったので、このことを他の人にも教えてあげたいです。(5年生児童)
- 今日は、両城小学校に来て着衣泳を教えてくださいありがとうございます。ぼくは、頭をつけることができないので、初めはこわかったけど、少しだけ浮くことができるようになりました。いつもならこわかったけど、今日は楽しかったです。(5年生児童)
- 背浮きはできるけど、あごを上げるとか命を守るためにちょっとずつ教えてもらいました。おかげで、ペットボトルなしで3分くらいまで浮けそうです。教えてくださいありがとうございます。(6年生児童)
- もし、私服の状態で川に落ちた時は、焦って泳いだりせず、助けを待つのが良いと分かって何事も慎重にすればいいんだと思いました。(6年生児童)